

コロナ禍における海外への渡航について（誓約書）

年 月 日

学生番号 \_\_\_\_\_ 氏名（自署） \_\_\_\_\_

私は、以下の用務で渡航したいのでお認め願います。

渡航期間：

用 務：

用務先（国名、都市名、機関名）：

外務省が定める派遣先（国・地域）の危険レベル： \_\_\_\_\_ 感染症危険レベル： \_\_\_\_\_

ワクチン接種日： 1回目 \_\_\_\_\_ 2回目 \_\_\_\_\_ 3回目 \_\_\_\_\_  
（※接種を証明できる書類を添付）

なお、渡航にあたって、渡航先（国・地域）では自分自身で安全を確保しなければならないことを理解し、自覚と責任を持って安全と健康に十分な注意を払うこと、及び新型コロナウイルス感染症に関する下記の遵守事項について承諾・厳守することを誓約いたします。

ただし、その他本学の規則等に定めのある事項はそれに従います。

記

※確認した項目に ☒ を記入すること。（ただし、私事渡航の場合は 2 及び 3 の項目への記入は不要）

- ☐ 1. 渡航先（国・地域）の政府からの指示や在外公館からの通知に注意を払い、入国に際し、一定期間の隔離措置等、渡航先（国・地域）政府及び受入機関の定める防疫事項について事前に確認するとともに、現地の法令を遵守すること。
- ☐ 2. 渡航先での行動制限（移動制限や自主隔離等）の状況及び受入機関における研究活動の状況等を踏まえ、目的とする活動（研究活動、研修、インターンシップ、学会他）が十分行える状況であることを確認したこと。
- ☐ 3. 渡航先の受入機関の受入責任者（受入教員または受入に責任をもつ教職員）から、滞在中に安全確保上の緊急事態が発生した場合には支援を受けることが可能であることや、現地緊急連絡先として本学からの連絡窓口として状況確認に協力することの承諾を得ていること。

※学会出席など現地受入機関のない渡航の場合は、学会事務局等。

〈受入機関の受入責任者〉（または全行程帯同する本学教職員）

氏名： \_\_\_\_\_

所属・役職： \_\_\_\_\_

電話番号： \_\_\_\_\_

e-mail： \_\_\_\_\_

- ☐ 4. 渡航前に、渡航先での安全な宿泊先が確保できていること。

宿泊先名： \_\_\_\_\_

宿泊先住所： \_\_\_\_\_

- ☐ 5. 渡航先で健康上の問題が発生した場合に受診できる医療機関が周囲にあること。
- ☐ 6. 本渡航について親族の了承を得ていること。
- ☐ 7. 本渡航を遂行できる健康状態であること。
- ☐ 8. 全旅行期間を対象として十分な補償が受けられる海外旅行保険又は現地の保険に加入していること。
- ☐ 9. 派遣先（国・地域）及び日本への入国時の隔離期間を考慮したうえで、日本からの出国を検討すること。また、隔離期間に係る経費については、自ら負担すること。

- 10.渡航先での活動日数が渡航先及び日本入国時の隔離期間を超えること。
- 11.日本への入国に際して、日本政府の定める防疫事項・水際対策を必ず遵守すること。
- 12.渡航期間中に新型コロナウイルス感染症に感染し、それに伴う隔離、入院等が発生した場合は、隔離や治療に係る経費について自ら負担すること。
- 13.新型コロナウイルス感染症の感染状況の悪化等が生じ、本学が学生の安全を第一とし、派遣の中止あるいは帰国勧告を行った場合は、本学の指示に速やかに従うこと。派遣の中止あるいは帰国に関する費用は、原則、自己負担となる。
- 14.現地渡航中に日本国内での感染状況が悪化し、日本に入国できなくなった場合、現地での滞在の延長に係る費用は自ら負担すること。
- 15.万一、渡航中に死亡した場合は、遺族が遺体（遺骨）の搬送等の責任を持つこと。
- 16.上記以外の事項で疑義が生じた場合又は上記に定めのない事項については、大学の指示に従うこと。

(指導教員)

承認日 \_\_\_\_\_ 氏名（自署） \_\_\_\_\_

※日本政府の定める防疫事項・水際対策に基づき、日本入国時に待機が必要となる場合、ホテル名及び住所（やむを得ず、空港周辺のホテル以外で待機する場合はその場所及び住所）を事前に学生・留学生支援課（日本人学生：学生生活係、外国人留学生：留学生係）に申し出ること。

◎指導教員の承認を得た上で提出すること。以下は、記入しないこと。

(学系長)

承認日 \_\_\_\_\_ 氏名（自署） \_\_\_\_\_

(理事（教育、学生担当）・副学長)

承認日 \_\_\_\_\_ 氏名（自署） \_\_\_\_\_

備考：教員の氏名欄（自署）は、承認の確認できる電子メール等の提出で代えることができる。